



中央図書館だより

Hon do?

NO.100
(令和4年8月16日発行)

特集コーナー紹介



◆おばけえほん (1A)

夏におすすめるの特集は引き続き展示中!

◆【新規特集】
◆エゴ、はじめませんか(特設1)

第167回芥川賞・直木賞決定!!

芥川賞 高瀬隼子

『おいしいごはんが食べられますように』 (講談社)



直木賞 窪美澄

『夜に星を放つ』 (文藝春秋)



※特設5に置いてます

※貸出中の場合は予約ができます

■新着本紹介■

新刊の一部をご紹介します

一般書



『先祖探偵』
新川帆立
(角川春樹事務所)



『中原中也詩集』
(にほんの詩集)
中原中也
(角川春樹事務所)



『おいしい子育て』
平野レミ
(ポプラ社)

『沖縄のことを聞かせてください』 宮沢和史 (双葉社)

『一生幸せになれる料理 147

お魚イラストレシビ大百科』 大垣 友紀恵 (つり人社)

『ブータン、世界でいちばん幸せな女の子』

阿川佐和子 (文藝春秋)

『おもいでマシン』 梶尾真治 (新潮社)

『雨滴は続く』 西村賢太 (文藝春秋)

児童書・絵本



『かきごおり
おまちとおさま』
ふくだじゅんこ
(WAVE出版)



『ずぼっじー』
高橋祐次
(講談社)



『のびーる国語
使い分け漢字』
大村幸子 (監修)
KADOKAWA

『理系の職場』 1~2 こどもくらぶ (編) (同友館)

『中高生のスポーツハローワーク』 (学研プラス)

『ひろしまの満月』 中澤晶子 (小峰書店)

『みどりの森のなかまたち』 たかどのほうこ (理論社)

『すいかごろごろ』 すとうあさえ (ほるぷ出版)

『かっぱのふうちゃんライフジャケットでスイスイ』

森重裕二 (子どもの未来社)

■中央図書館カレンダー■

※市内の新型コロナウイルスの感染状況によって、おはなし会などのイベントは中止になる場合があります

8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

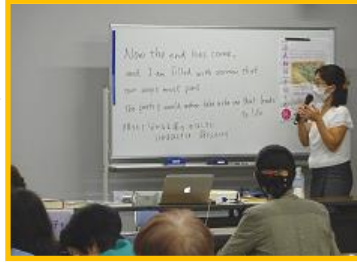
- は休館日
- ◇しあわせおはなし会 10:30~
- おはなし会 14:00~
- 古文書学習会 14:00~
- △みずのわ読書会 10:00~

問合せ先 天草市立中央図書館
TEL: (0969) 23-7001

【開館時間】火~金曜9時~19時 土・日、祝日9時~17時
※8月の古文書学習会、みずのわ読書会はお休みです

源氏物語の世界を愉しみました

8月4日(木)「源氏物語を愉しむ」では、41の方がご参加くださり関心の高さが伺えました。早稲田大学招聘研究員の常田さんから、現代語訳者のそれぞれの訳の特徴や、海外の翻訳を比較すると文化の違いが分かるなど、源氏物語の新たな楽しみ方を学びました。会場内に展示した関連資料も多くの方が手にとられていました。今回のイベントでは、中央図書館ありすボランティアの高校生5人が、準備・進行・片付けを手伝ってくれました。



職場体験レポート

7月、天草拓心高校と天草高校倉岳校の学生が実習を行い、カウンター業務や移動図書館などを体験しました。おすすめ図書POPも作成し、館内で展示しています。



戦争体験記第4弾が完成しました

天草で戦争を体験された方からお話を聞き、郷土資料として残す企画の第4弾『私の戦争体験~佐伊津村の頃~』(寺下信義/語り)が完成しました。戦争体験者が少なくなる中の貴重な記録として、図書館で保存していきます。貸出も可能です。



郷土ゆかりの作家コーナーを設置しました

一般書エリア21の棚に高浜寛さんや石牟礼道子さんなど、天草にゆかりのある作家の図書を集めました。



帰る前に忘れ物はないか確認を!

夏休み期間で多くの方が図書館を利用されており、忘れ物が増えています。ご注意ください。「図書館に忘れてきたかな?」—そんな時は、総合カウンターにお尋ねください。

コラボ特設コーナー紹介

市役所などの各課との新規コラボコーナー



◆ノザリバ vol.12 関連図書 (政策企画課) (特設1)



◆がん検診を受けましょう (健康増進課) (特設2)



◆天草市キリシタン資料館にいこう (文化課) (特設3)

◆天草市・愛知県瀬戸市交流連携企画はじめてのせとものも引き続き展示中! (文化課(特設1))

今年是天草でも3年ぶりに花火大会が開催されました。実家の目の前が本渡港という立地、久しぶりに見る花火は、「こんなにきれいだったんだ…」と潮風に吹かれ幸せな時間でした。

しかし、『沖縄のことを聞かせてください』の本で、花火を見ることができない戦争体験者の方たちがいらっしやることを知りました。「暗い中にパッパッと砲火が浮かぶ」「自分たちはあの花火の下で右往左往して逃げ惑っている人たちが見えます」と元ひめゆり学徒隊でひめゆり平和記念資料館元館長の島袋淑子さんは、その理由を伝えています。戦後77年、自身の戦争体験を一度も語らなかった男性がウクライナの侵攻を受け「戦争は絶対にしてはいけない。泣くのは一般市民です」と広島での被爆体験の講演を始められました。2015年に亡くなった報道写真家の福島菊次郎さんは自身も戦地で戦争体験し『ピカドン』『戦争が始まる』など戦争写真を多く残しています。気の小さい私は直視できず、写真集なのに、ほぼ説明文を読むという読書体験をしました。最近、那須圭子さんにより、福島さんが残された貴重な言葉を著した書籍が発行されました。「みんな戦争なんて始まらないって、頭のどこかでそう思っているだろ、でも、もう始まるよ」と亡くなる前に言われた言葉がよみがえるそうです。

田口ランディさんは半藤一利さんとの対談で「毎日子どもを保育園まで送って、ぎゅーっと抱きしめているお母さんたちが戦争を望むわけない」と言います。多くの人は戦争をしてはいけないと思っているのに、なぜ繰り返されるのでしょうか。「心理は小さな出来事の中に潜んでいる、虚実を見破る眼力が必要」との半藤さんの言葉は「歴史を知り、あふれる情報に惑わされないぶれない理性を持ちなさい」と、言われているように感じました。

図書館では天草の方の戦争体験記を発行しています。特集コーナーには、貴重な体験記録や絵本・児童書など子どもたちにもわかりやすい本も集めています。私は『この子を残して』を読み直し、絵本『戦争をやめた人たち』に心を動かされました。この時期に平和を考える時間を身近な人たちと共有していただければと思います。世界で起きている戦争が一日も早く終わりますように願いを込めて

中央図書館だより「HonDo?」は2013年8月に第一号を発行してから、今回で100号を迎えました。これからも本と読書、図書館の今を皆様に分かりやすくお伝えしたいと思います。

【文・中央図書館長】